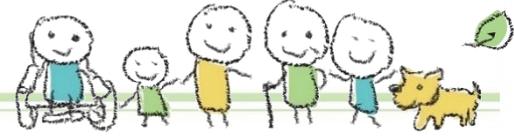


花のある公園だより vol.15

清瀬市 水と緑と公園課 2024年 3月発行



(仮称)花のある公園は、土地の寄付者の故伊藤ヨシさんの「清瀬の人たちが自然を大切にして、花で憩える場所にしてほしい」という想いと、令和元年度に行った公園づくりのワークショップでみなさまから寄せられたご意見を生かして計画されました。コンセプトは「清瀬の豊かな自然や畑のある環境を大切にしながら、四季折々に花が咲き、子どもから高齢者まで誰もが、それぞれに色々な楽しみ方ができる公園」となり、それを実現するために、整備工事開始までの間、公園予定地を利用してのプレパーク事業を行ってきました。

チャレンジ期間…たくさんの笑顔があふれました！



青空と原っぱと大きなエノキのある風景を持つ可能性は無限大！

公園予定地でのプレパーク事業は、今年度で終了です。これまで、たくさんのごことをしてきました。

- プロジェクトの存在を知っていただくためのオープンパーク
- 花のある公園にしていくためのナチュラルガーデンづくり
 - ・ナチュラルガーデン入門講座の開催
 - ・月に1回のガーデニングデイ
 - ・毎週1回のちょこっとガーデニング
- 農の体験をしながら公園づくりについて考えるコミュニティファーム活動
- 多様な人が関わるきっかけをつくるナチュラルマーケット
 - ・障がいのある方の社会参加や市民の交流の場
- 市民のアイデアを実現した色々なコト
 - ・夕涼み会
 - ・オープンガーデン
 - ・あおぞら保育 等

令和5年度の笑顔や色々

コミュニティファーム活動



ちょこっとガーデニング



多年草を使ったナチュラルガーデンとコンテナを週に1回1時間くらいで管理。来れる人が、できる範囲で、無理なく、がモットー。



ナチュラルマーケット



毎週水曜日 30分だけのマーケット。社会福祉施設も参画し、障がいに関係なく社会へ寄与する場のひとつに。近隣の高齢者のおしゃべりの場にも。



夕涼み



8/26に、近所の方たちが企画して使用許可を得て行った夕涼み。子どもたちの夏休み最後の思い出になりました。

個人で楽しむ市民農園とみんなで創造するコミュニティガーデンの違いを体験して実感！

農地が多い清瀬でも、市民が土に直接触れる機会は少ないもの。いくつかの農法を比較し、子どもも参加して、コミュニティづくりをしました。

プレパーク事業の背景

公園という場所についての考え方が、現代は少子高齢化等の社会環境や気候変動などの地球環境の変化に伴って変わりつつあります。今回はそのことについて少し説明をします。

公園は何のためにあるの？



公園はまちのあちこちにあるけど、いったい何のためにあるんですか？

公園の中でも「都市公園」はいつでも、誰でも利用できる公共の場として整備されています。まちのあちこちにあるのは、下のようさまざまな役割を持っていて、清瀬のまちにとっても大切なオープンスペースだからなんです。



存在効果

防災・減災 環境調節
生物多様性

公園の役割

利用効果

保健・休養 子育て支援
生産 文化・教養

波及効果

シビックプライド コミュニティ形成 健康・福祉 賑わい・観光



びっくりです！こんなに色々な役割があるんですね！でも公園は、使いにくいというイメージがあるんですけど、何かが変わっていくんですか？

大切だから、みんなで考えて、楽しみながら関わるという方向へ変化



そのために、令和4年には「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言」が国交省から示されました。そこには「人中心のまちづくりの中で、(公園の)ポテンシャルを最大限発揮するため、パートナーシップの公園マネジメントで多様な利活用ニーズに答え、地域の価値を高め続ける『使われ活きる公園』を目指す」と書かれているんですよ。

ということでこれまでの期間の経験をもとに、より良い公園との関わり方について、来年度は市民のみなさんと考えていきます。

日本各地にある、公園を使ってまちづくりやコミュニティづくりをしている人たちの紹介

「みんなの公園愛護会」というホームページ。日本各地で、公園からはじまるまちづくりをしている人たちが紹介されています。



これからについて

公園のオープン予定は令和7年度です。令和6年度は、公園の整備工事を行います。そのため公園予定地への立ち入りはできなくなります。ご不便をおかけしますが、ご承知おきください。

開園までみなさまとのやりとりを続け、愛される公園を目指していきます



これからも

各種 SNS で情報をお届けします！

QRコードをチェックしてくださいね！

これまでフェイスブックとインスタグラムで情報をお届けしていましたが、LINEの利用者が世代を問わず多いとのことで、どなたにも情報が届くようにLINEでの発信もしています。



フェイスブック: Kiyose
花のある公園プロジェクト
www.facebook.com/FlowerPark.KIYOSE



インスタグラム:
@flowerpark.k

